

しあわせ

2021年
1月1日発行
No.172



今年度、70歳以上の方を対象にした日帰り旅行「ひとり暮らしのつどい」は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止しました。その代替え事業として、高齢者リフレッシュ関ヶ原探訪を企画し、10月にオープンした岐阜関ヶ原古戦場記念館の見学と、玉倉部そばの会みなさんにご協力をいただき、新そばと五平餅をいただきました。11月20日と27日の2日間、50名の方が検温やマスク着用と手指消毒などの防止対策をして参加されました。関ヶ原町の新しい観光施設を訪れ、関ヶ原の歴史に触れ、また美味しい関ヶ原産の新そばと五平餅を食べ、みなさん笑顔あふれる日となりました。
※この事業は歳末たすけあい募金の配分を受けて実施しました。



新春のご挨拶

社会福祉法人関ヶ原町社会福祉協議会

会長 三輪 均

新年あけましておめでとございます。皆様方には、令和三年の輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

日頃は、社会福祉協議会の事業推進に對しまして格別なるご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大から始まり、一年が経とうとしています。一向に収まる気配もなく世界中でますます猛威をふるっています。東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックが無事に開催できることを願っています。

社会福祉協議会の事業においても、感染拡大防止として福祉推進員研修会、ふくしフレンドパークの中止や各地域のサロン活動が開催できない状態が続いています。その中、生活支援に最低限必要な買い物支援は継続的に実施し、十月よりは三密を避けた中での学習支援及び一人暮らし高齢者のリフレッシュ事業「関ヶ原探訪」として岐阜関ヶ原古戦場記念館に五〇名の皆さんに参加していただきました。

さて、社会福祉協議会では令和三年三月に第五次地域福祉活動計画「ふれあい福祉プラン」を策定いたしました。この計画の基本理念は「互いに助け合い 安心して暮らせる 福祉のまちづくり」として

います。

国においては、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らすことができる地域社会を創っていく「地域共生社会」の実現に向けて、地域住民が地域で起きている様々な問題を、他人事ではなく、「我が事」としてとらえ、行政は分野別の相談を「丸ごと」受け止めようという発想の下で、「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現を目指し、社会福祉法の一部改正により令和三年四月より、包括的な支援体制の構築の支援が求められています。

その中、第五次の基本理念をふまえ、計画を実現するための基本目標として、(一)支え合いの仕組みづくり (二)地域福祉を支えるひとづくり (三)安心が生まれる支援づくりの諸事業を展開していきます。

計画の推進においては、地域住民の抱える生活課題やニーズを把握し、新たな支えあいのしくみづくりとして、各自治会、民生委員・児童委員及び福祉推進員並びに各種団体のボランティアの皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、この新しい年が皆さまにとって幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。



コロナ禍におけるサロン活動の紹介

新型コロナウイルス感染症の影響で、多くのサロン活動の自粛が余儀なくされています。その中で、公門六のいきいきサロンでは、家にいて「脳トレーニング」や「ストレッチ」で元気に過ごしていただきたいという思いで「ケイロク(K6)ドリル」を作り、公門六自治会のみなさんに配付されました。K6ドリルには、脳トレクイズやストレッチの方法などが記載されています。

その他、各自治会のサロンでコロナ禍における活動などがございましたら、社協へご紹介ください。



日常生活自立支援事業

高齢者や障がい者の方のなかには、例えば、“どんな福祉サービスがあって、その利用方法がわからない”、“毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困っている”、“大切な書類の保管場所を忘れてしまう”ことなどが考えられます。

日常生活自立支援事業は、こうした方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、社会福祉協議会がお手伝いします。

どんな人が利用できるの？

認知症高齢者や知的障がい、精神障がいなどで、自分ひとりでは福祉サービスの利用契約等の判断をすることが不安な方や、日常生活に必要なお金の出し入れ・書類の管理などをするのに不安のある方です。

どんなお手伝いをしてくれるの？

福祉サービス 利用援助

- 利用に関する情報の提供や相談
- 利用申し込みに必要な手続き
- 福祉サービスの苦情を解決するための手続き

福祉サービスを
安心してご利用
いただけるお手伝い

金銭管理 サービス

- 預貯金の出し入れ
- 年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- 税金や電気、ガス、水道などの公共料金の支払い手続き
- その他の金銭を要する手続きの代行

金銭管理や
支払い手続きの代行

書類等預かり サービス

- 年金証書
 - 預貯金の通帳
 - 証書（保険証書、権利証、契約書など）
 - 実印、銀行印
- ※宝石や骨董品などはお預かりできません。

通帳・証書などの
紛失を防止

利用料金はいくら？

援助内容	利用料
・福祉サービス利用援助 ・金銭管理サービス	1時間あたり 1,000円 (1時間を超えると30分ごとに500円加算)
・書類等お預かりサービス	1ヶ月あたり 500円

相談窓口 関ヶ原町社会福祉協議会 (☎43-2943)

フードバンクにご協力をお願いします！

フードバンクをご存知ですか？フードバンクとは「食料銀行」を意味する社会福祉活動で、まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や生活に困っている方へ届ける活動です。社協ではお米をご提供いただける方を募集しています。ご提供いただける方がございましたら、ご連絡をお願いいたします。

お米の種類・状態について

- ・一般的に主食として用いる「うるち米」
- ・玄米の状態
- ・収穫3年以内

連絡先／関ヶ原町社会福祉協議会
TEL 43-2943

NO.
131

ボランティアセンターだより

さわやか



SVC関ヶ原の勉強会

“コロナ禍における避難所設営と災害ボランティアセンター運営について”

SVC関ヶ原は、11月21日(土)ふれあいセンター視聴覚室において、9月29日(火)におこなったボランティア連絡協議会主催のコロナ禍における避難所設営訓練の報告と、岐阜県が示したコロナ禍における災害ボランティアセンター設営についてのガイドラインについての説明および岐阜県社協主催の研修内容の報告をおこないました。

災害ボランティアコーディネーターのみなさんは、避難所設営についても知っておくべきことであり、また、自然災害が常態化しつつある昨今、突然、災害ボランティアセンターを設営しなくてはならなくなったときに戸惑うことのないよう、心がまえの大切さを感じられたようです。



コロナ禍における災害発生時の為の 手作りガウン作り習得

12月11日、赤十字奉仕団の2名は揖斐川町の赤十字奉仕団春日分団のみなさんに手作りガウンの作り方を教わりに行きました。当日は揖斐川町の奉仕団委員長も来ていただき、交流を深めながら、工夫を凝らした、ごみ袋を利用したガウンの作り方を学ばれました。

ボランティア連絡協議会 スキルアップ研修

ボランティア団体の代表者で構成されたボランティア連絡協議会は、9月29日の避難所設営訓練につづき、スキルアップのための研修第2弾として、手話やガイドヘルプについて研修会を実施しました。

永くボランティア活動をしているみなさんですが、活動の中で、または日頃の生活で、聴覚や視覚に障がいのある方と接したときにコミュニケーション方法がわからず、困っているのを見過ごしたり、話しかけることをあきらめたりすることがあったのではないのでしょうか。

日ごろの活動がままならないこの時期、手話やガイドヘルプを学びました。

初めて手話に接したボランティア団体の代表者も多く、戸惑いながらも一生懸命に、あいさつや声掛けの手話をおぼえたり、目の不自由な方への手助け方法などを練習されました。

これからの活動でもきっと役に立つ場面があることでしょう。自信と勇気をもって接してくださると思います。





福祉協力校だより

今須小学校



「自分」「仲間」「地域」で
つながるよいことみつけ

今須小学校では、低学年では週1回、高学年では、週3回“よいことみつけ”をカードに書いて発表し、そのよさをみんなに広めています。

よいことみつけカードは、「自分」「仲間」「地域」の視点に分かれています。

「自分」：自分の成長のためにがんばっている姿

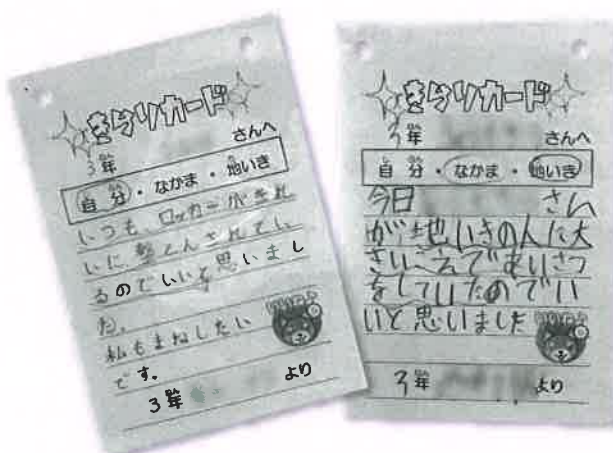
「仲間」：仲間のためにがんばっている姿

「地域」：地域での活動や地域の方との関わりの中で見つけたよさ

カードを書かない日は、発表だけ行っています。

カードは、よい姿の本人に渡されて、教室に掲示されます。

12月には、人権週間と関わらせて、「思いやりの木」に、よいことみつけカードを貼ることで、全校で、仲間のよさを共有していきます。



相談日 しあわせ相談センター



- 場所/国保関ヶ原診療所 北棟1階
- 時間/午後1時30分～午後4時
- ご相談は無料



	心配ごと相談 ※人権相談合同開催	弁護士相談 弁護士 二見敏夫 ※行政相談合同開催	結婚相談
1月	10日(日) 相談員 北村 稔 相談員 吉田植昭	16日(土) 相談員 安藤道子 相談員 山根とも子	16日(土) 相談員 永井ツヤ 相談員 名賀石里子
2月	10日(水) 相談員 吉田植昭 相談員 山根とも子	20日(土) 相談員 北村 稔 相談員 安藤道子	20日(土) 相談員 永井ツヤ 相談員 不破昭代

※都合により日程等を変更する場合がございます。ご了承ください。

善意のご寄附

10月16日から12月15日分まで(受付順・敬称略)

町老連グラウンドゴルフ南ブロック

.....10,000円

ありがとうございました。



さくらんぼ通信

生活介護事業所 さくらんぼの家 TEL43-1525

さつま芋ほったよ

11月10日(火)にさくらんぼの家の畑で育てたさつま芋の収穫をしました。当日は、天気も良く絶好の収穫日和。手袋、スコップを持って、さあ収穫開始です。今年は長雨の影響もあり、「大きく育っているかなあ」と心配していましたが、土の中からのぞかせた芋を見つけ、利用者みんなも一安心。つるをたどって掘っていく、全部収穫するころには籠いっぱいになりました。次の日の昼食では、天ぷらにしてホクホクのさつま芋を楽しみました。



紅葉を見に行ってきました

11月の晴れわたる青空の下、さくらんぼの家のみんなで笹尾山の紅葉を見に行きました。コロナ禍の中、久しぶりのお出かけとなり、利用者みんなも朝から楽しみにしていました。話をしながら笹尾山まで歩き、目の前に広がる赤・黄・緑に彩られた景色に「きれいだね」と感嘆の声があがりました。時折、肩に舞い落ちるもみじの葉を拾ったりとゆったりと穏やかな時間を過ごしました。

